

Competent *E. coli* JM109

I. 製品説明

本品は Transformation Kit (Competent *E. coli* + Hi-Competence Broth + プラスミド DNA) に含まれる Competent *E. coli* と同一品です。

II. 保存

-80℃

III. 製品内容

Competent *E. coli* JM109 100 μ l x 10 本
(水色チューブ)

IV. 形質転換効率

$\geq 1.0 \times 10^8$ cfu/ μ g pBR322 DNA
(「使用例」に従って、トランスフォーメーションを実施し、算出した。)

V. 遺伝子型

endA1, *gyrA96*, *thi*, *hsdR17*, *supE44*, *relA1*,
 Δ (*lac-proAB*), *recA1*, F' [*traD36*, *proAB*⁺, *lacI*^q,
lacZ Δ M15]

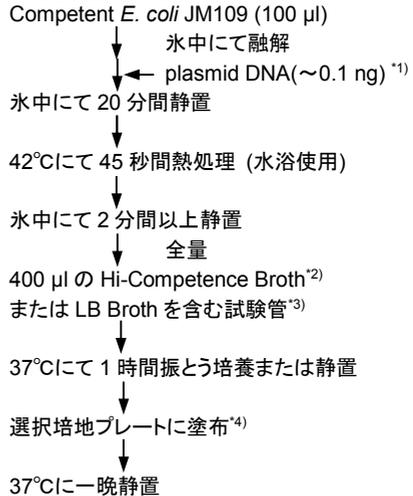
VI. 備考

本品は、クローニング部位が *lacZ* 遺伝子中にあるベクターDNA を用いて形質転換を行った際に、X-Gal 及び IPTG を含む培地で blue/white 選択を行うことができます。

VII. 注意

Competent *E. coli* は一度融解すると時間の経過とともに形質転換効率が下がるため、融解後はできるだけ早くご使用下さい。
また、融解後の再凍結保存は避けて下さい。

VIII. 使用例



- *1) この時加える plasmid DNA の容量は約 10 μ l までにする。10 μ l 以上加えてもよいが、効率が下がる場合がある。DNA の添加後は、チップで軽く数回攪拌する。
- *2) 使用直前に融解し、よく振って一様にした後、Competent cell の 4 倍量を分注して、予め 37℃ で保温しておく。SOC 培地を用いても同様の効果が得られる。LB Broth を使用した場合、効率は表示の数値の 1/4 ~ 1/40 程度になる。
- *3) 試験管は、なるべく径の大きいもの (ϕ 16 ~ 18 mm) を使用したほうが Hi-Competence Broth の効果が高まる。
- *4) 必要であれば Hi-Competence Broth または LB Broth で希釈する。

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。
医薬品の用途には使用しないでください。